

舞踊関係文献目録 — 昭和55年 —

- * この目録は、昭和55年度に発行された舞踊関係の日本語文献(単行本、雑誌・紀要論文)を収録したものである。
- * 便宜上、次の分類に従った。
 総記・芸術(一)・芸術(二)・民俗・教育
 このうち、芸術は舞台舞踊、民俗はそれ以外の舞踊とし、芸術(一)は日本の舞踊、(二)は外国の舞踊とした。
- * 各項においては、単行本、雑誌の特集、雑誌・紀要論文の順に配列した。
- * 雑誌・紀要の号数は洋数字、巻号は0-0とし、月刊誌は0月とした。
- * 本目録を、研究交流・情報交換の場として充実させるため、大方の御教示をお願いする。

〈 総 記 〉

- 舞踊年鑑〔Ⅳ〕—1980— 全日本舞踊連合編 全日本舞踊連合
 日本舞踊・バレエ・現代舞踊・児童舞踊の昭和54年の記録。内容は、舞踊界の概況、主な舞台写真、舞踊公演記録、舞踊家名鑑、舞踊界の内外。
- 舞踊入門 J. マーチン 小倉重夫訳 大修館書店
 1939年にニューヨークで刊行された“Introduction to the Dance”の抄訳。「舞踊へのアプローチ」を序章とし、第一部「理論における舞踊」として「動きの本質」「形式と構成」「様式の基礎」、第二部「実践における舞踊」として「なぜ踊り、いかに踊るか」「娯楽舞踊」「観せるための舞踊—バレエ」「表現舞踊」「中間領域」「教育における舞踊」の構成。
- 民族舞踊にける橋 榊原帰逸 榊原学園
 著書の主宰する舞踊団の五十年にわたる歩みの記録。200葉のカラー写真が巻頭に載る。
- 意味空間における舞踊のイメージ 頭川昭子・松浦義行・川口千代 体育学研究24
- 舞踊の新しい可能性と問題 佐伯聡夫 女子体育1月
- 舞踊表現における音と動きに関する研究Ⅰ 鷺尾露子 上智大学体育13
- 舞踊の領域に関する研究〈その2〉 佐藤章子 目白学園女子短期大学研究紀要17
- 舞踊の鑑賞構造に関する研究〔Ⅴ〕—舞踊要素評定による琉球舞踊の認知体系 金城光子 琉球大学教育学部紀要24(2)
- 舞踊作品研究—事例研究— 松本千代栄・本間清美

舞踊学 3

- 舞踊作品の構造に関する研究—「雫の跡」の分析を中心に— 柴真理子 同上
- 舞踊のなかの時間—様式的身体運動の時間構造— 上林澄雄 同上
- 舞踊動作の表現リズムに関する研究〔Ⅱ〕—琉球舞踊・日本舞踊・インド舞踊の筋放電及び呼吸パターンについて— 金城光子・花城洋子 琉球大学教育学部紀要24(2)
- 運動表現の民族的特性に関する研究Ⅲ—インド古典舞踊の様式と技術— 松本千代栄・山田敦子・本田郁子・三好智子 舞踊学3
- 中国の舞踊—歌舞芸能(秧歌)を中心として— 小野満みどり 舞踊学3
- 巫俗信仰のなかの舞踊と音楽—民族舞踊・サンプリ舞の研究— 金淑子 韓国文化6・7月
- 江陵端午祭の軍雄クツ 板谷徹 演劇博物館43
- 動きの世界・「みたて」の世界 松本千代栄 女子体育9月
- 「私の舞踊史」—1ジャーナリストの回想(12)~(17) 村松道弥 TES24~29
- 舞踊関係文献目録—昭和54年— 舞踊学3
- 外国の舞踊書から 同上
- 昭和54年度舞踊学修士論文一覧 同上

〈 芸術(一) 〉

- 日本舞踊全集第四巻 演目解説Ⅳ 日本舞踊社編 日本舞踊社
 演目解説Ⅳとして、「竹生島」から「白扇曾我」までの55作品につき、歌詞・字句解釈・解説・鳴物解説・踊る心得・舞台装置・衣裳・かつら・小道具図版・舞台写真を載せる。
- 日本舞踊大鑑第1巻 華耀編 和角仁編 創紀房新社
 本編は、「日本舞踊説苑」として「日本舞踊の美」(河竹登志夫)、「日本舞踊の世界」(藤田洋)、「日本舞踊と季節」(松井俊論)、「日本舞踊と音楽」(杉昌郎)、「流派と名手」(戸部銀作)。「能からきた日本舞踊」(松田存)、「新しい舞踊の創造」(本田安次)、「日本舞踊の歴史」(和角仁)の解説と「華耀百姿」の80曲の舞台写真、「新編舞台蒙象図彙」の衣裳・髪・小道具・舞台装置、別冊「華耀百姿型付覚書」で型付を説く。
- 日本舞踊の研究 西形節子 南窓社
 総説として、日本舞踊の「様式と性格」「演技と動作」、研究と論考として、作品研究3曲と日本舞踊の振付・後見・照明に関する3編の論文を載せる。
- 初代若柳吉三次 三隅治雄編著 芸能発行所
 若柳吉三次からの聞き書きをもとに、「踊りに生きる」の自伝と、「踊りを語る」の芸談の2部に

まとめた書。附録に「若柳吉三次舞台出演年表」。
曙—初代花柳寿美— 花柳宗岳編 三満寿
初代花柳寿美の主宰した曙会の公演パンフレットを再録したもの。
色の道 続色の道 遠山静雄 私家版
舞台照明の権威である著者の舞台照明や古典芸能にかかわる随筆集。
雨月道成寺 御室晋 私家版
遠山静雄の舞踊台本集。「雨月道成寺」「烏小町」「青衣女人」など20作品を収める。巻末に作品上演表。
日本舞踊の基礎 花柳千代 東京書籍
著者の提唱する日本舞踊のメソッドを集成した書。日本舞踊のはじめに、上半身の動きの基本、下半身の動きの基本、動作の基本、小道具の基本、応用編、資料編を、それぞれ写真の図解と解説で示す。
特集・鶴亀 観世1・2月
特集・春日竜神 観世3・4月
特集・水無月祓 観世5・6月
特集・融 観世7・8月
特集・夕顔 観世9・10月
特集・正尊 観世11・12月
特集・舞踊名作案内 演劇界6月臨時増刊
舞踊の基礎知識 渥美清太郎・編集部 日本舞踊1～12月
舞踊名言集成 郡司正勝 邦楽と舞踊1・2・4・8・10月
日本舞踊の歴史⑪～⑬ 藤田洋 創作舞踊11～13
舞踊年表 如月青子 芸能1～12月
道成寺集成XI 駒井義之・後藤瑠美子 舞踊研究14
宮延の歌舞 土橋寛 『講座・日本の古代信仰5』
神楽と巫女舞 三隅治雄 同上
田遊びから田楽へ 植木行宣 同上
散楽と猿楽 近江昌司 同上
傀儡子舞い 西田長男・鈴鹿千代乃 同上
桑名松平家の異風の舞楽に就いて 羽塚尚明 雅楽界55
舞楽の民俗—稚児舞を中心に— 三隅治雄 雅楽界55
儀式における舞楽演奏の記録を辿って 高橋美都 雅楽界55
蘇莫者 古泉円順 四天王寺女子大学紀要12
左舞譜「迦陵頻」詳解 蘭広茂 雅楽界55
右舞譜「貴徳」詳解(中) 東儀和太郎 雅楽界55
「かいなさし」考 後藤淑 学苑7月
永長大田楽の起因から法師原の周辺まで—中世放浪芸の系譜— 渡辺昭五 国学院大学日本文化研究紀要46
江戸初期の仕舞—「仕舞の歴史的考察」追考 表章 観世2・5・7

観世2・5・7月
「謡舞”(うたいまい)の形成(上) 竹本幹夫 実践国文学18
能の童子 天野文雄 観世3・4月
「たうらうの能」と蠅螂の舞 天野文雄 観世12月
舞歌二曲を本風とする現在能・序説—「熊野」の作能法をめぐって 三宅晶子 国文学研究72
「人待つ女」の「今」と「昔」—能『井筒』論 西村聡 皇学館大学紀要18
「一衣天神」考 小田幸子 能研究と評論9
作品研究「鶴亀」 西野春雄 観世1月
作品研究「春日竜神」 徳江元正 観世4月
作品研究「水無月祓」 味方健 観世5月
作品研究「融」 表章 観世8月
作品研究「夕顔」 小西甚一 観世10月
作品研究「正尊」 西脇哲夫 観世11月
琉球の「組踊」とかぶきの「仕組踊」 郡司正勝 舞踊学3
沖縄各地の組踊—特に仇討物を中心として— 長友武 琉球大学教育学部紀要24(1)
役者の踊と舞踊家の踊 郡司正勝 演劇界6月増刊
舞踊の歴史と流派 和角仁 同上
振付師の存在 戸部銀作 同上
歌舞伎舞踊の音 杉昌郎 同上
おどりの小道具 松永薫 同上
やさしい舞踊の用語辞典 玉垣風和三 同上
舞踊界の習慣 富田宏 同上
舞踊名曲総覧 同上
道成寺における舞踊美の追求—引抜きと後見の相関関係について 塚原明江 跡見学園女子大学・美術史学科報8
志賀山流の特色—「古風」とは— 西田泉 舞踊学3
志賀山の特色「古風」とは 西田泉 演劇創造10
諸流の昔と今 江口博 日本舞踊
松本流 2・3月 藤蔭流 9～11月
研究資料(嘉永七年のおどりの譜) 丸茂祐佳 舞踊研究13～16
娘形の分類4～6 駒井義之・丸茂祐佳 舞踊研究13・15・16
春賑花街踊総覧 林喜代弘 上方芸能67
上方の舞1～4 垣田昭 舞踊研究13～16
振付の美学 花柳芳次郎 舞踊研究13～16
舞踊の周辺 永井啓夫 舞踊研究13～16
蜻蛉の眼 八巻猷吉 舞踊研究13～16
テレビのメディアにおける舞踊 石川健次郎 舞踊研究13
目で見える創作舞踊(四)～(九) 邦楽と舞踊2・4・6・8・10・12月
日本舞踊の味わい 花柳千和歌 女子体育12月
舞踊曲を聞きなおす 上林澄雄 邦楽と舞踊1～12月
歌舞伎の音楽・舞踊と析頭 竹柴蟹助 邦楽と舞踊

1~10月

日本舞踊の基本練習(43)~(50) 花柳千代 邦楽と舞踊1~8月

日本舞踊技法講座(1)~(4) 志賀山葵 邦楽と舞踊9~12月

舞い入門②“御殿舞” 瀬戸口恭子 邦楽と舞踊7・9月

踊の心 邦楽と舞踊

京鹿子娘道成寺 西形節子 1月

年増 目代清 2~4月

北州 西形節子 5~7月

連獅子 目代清 8~11月

外記猿 西形節子 12月

舞踊参考室 日本舞踊

茶壺 長田午狂 1月

一中・道成寺 仁村美津夫 2月

常磐の老松 仁村美津夫 3月

鳥辺山 長田午狂 4月

子の日・葉の葉 長田午狂 5月

仲蔵狂乱 長田午狂 6月

道中双六 新谷誠太郎 7月

浜松風 渥美清太郎・仁村美津夫 8月

半田稲荷 郡司正勝 9月

都見物左衛門 仁村美津夫 10月

鉢かつぎ姫 長田午狂 11月

深川八景 仁村美津夫 12月

芸話シリーズ 日本舞踊

花柳昌太郎芸話 4~6月

花柳寿美之輔聞き書 永井啓夫 邦楽と舞踊12月

聞き書 河藤たつろ舞踊人生 鴨一平 創作舞踊11

~13

〈芸術(二)〉

バレエ'80一年刊バレエ写真集 バレエ'80編集委員会 東出版

カラー特集に、森下洋子・来日公演。ほかにバレエ・現代舞踊公演の舞台写真と、山野博大・久保正士・桜井勤・合田成男による'79年の概況、公演記録。

バレエ用語辞典 川路明編著 東京堂出版

日本バレエ協会の事業として、バレエ用語に解説を加えた辞典。チエケッティ、ワガノワ派など、用語の異なる各派にも言及されている。

バレエの世界 O.ジョワイユ 大津俊克訳 ブックマン社

“Le monde merveilleux de la danse”の邦訳。

著者は「クラシック・バレエこそ、あらゆる舞踊の中で、もっとも崇高なもっとも美しい世界」であり「クラシック・バレエを語ることは、パリ・オペラ座について語ることだ」として、「クラシック・バレエの基本」「オペラ座」「舞踊の歴

史」を述べる。

バレエへの招待 小牧正英 日本放送出版協会

「小著はバレエ・ダンサーとしての自らのバレエにかかわるエッセイや紀行文、バレエ作品の解説等を集録するとともに、近世劇場における劇場芸術の基礎的方法論である『舞台学』に関して、その解明と紹介を目的にした。」(はじめに)内容は、1舞台、めぐり合い、旅、2バレエ作品・解説、3舞台学入門。

バレエを志す若い人たちへ O.サファイア 霞ヶ関出版

「この本は昭和28年6月、『河出新書』第十一冊として発行された『バレエを志す若い人たちへ』から、第八節『バレエの基本練習』中のレニン・グラード国立舞踊技芸学校の授業プログラムを除外したものを第一部とし、同授業プログラムを、その原典であるア・ヴォルィンスキーの名著『歓喜の書』に基づいて、可能な限り詳述したものを第二部としたものである。(『改訂・増補版の発行について』)

あなたのイサドラ F.スティーン・ミュラー編著 阿部千律子訳 富山房

1974年刊“Your Isadora—The love story of Isadora Duncan and Gordon Craig told through letters and diaries”の抄訳。2人の手紙を中心に愛の転末を描く。

魅惑のソビエト・バレエ 東出版

119葉のソビエト・バレエの写真集。野崎韶夫の解説で、「ボリショイ劇場」「キーロフ劇場」「マールイ劇場」「スタニスラフスキー音楽劇場」「二つの舞踊学校」「現代の上演目録」「ソビエト・バレエの人びと」「オペラ・バレエ劇場の分布」。

マイヤ・プリセツカヤ 野崎韶夫訳 プログレス出版所

プリセツカヤの肖像(ヴォズネセーンスキイ)、プリセツカヤを求めて(ワーヴラ)、やみがたき生の渴望(ガエーフスキイ)、マイヤ・プリセツカヤの踊り(コミサルジューフスキイ)、芸術の魔法(リヴォーフ=アノーヒン)、バレエの舞台におけるアンナ・カレーニナ(チューリン)、土壌と運命(マイヤ・プリセツカヤ讃)(シユワロフ)に、多数の写真を取める。

おんなを踊る アキコ・カンダ 駈々堂

アキコ・カンダの随筆集。Iわたしの師、IIわたしの踊り、IIIダンスの周辺、IVヒト・ひと・人、Vないしょの話。付録に、ダンスの実際。

特集・大野一雄・ナンシー演劇祭 ダンス・ワーク28

特集・「応答する鏡」—想像力の受肉 三条万里子
ダンス・ワーク27

特集・昭和54年度文化芸術祭 TES24

特集・石井小浪 TES26

特集・ノーモア・ヒロシマ TES26
特集・芙二三枝子舞踊団ロンドン公演 TES27
特集・指導の足跡(1)今年、研究所創立25周年を迎えて(天野陽子/小野正子) (2)創立記念周年を迎えた研究所紹介〈前篇〉 TES29

マーサ・グラハムとグラハム・テクニクについて
小川原春恵 藤村学園東京女子体育大学紀要15
モダン・ダンスの技法に関する歴史的研究 国枝タカ子・大串元子 茨城大学教育学部紀要 人文・社会科学29

「現代舞踊」作家小論—戦後転換期の舞踊教育に関連して 松本千代栄・岩川真紀 お茶の水女子大学人文科学紀要33

現代舞踊の原点—バレエ・邦舞をふくむ二十世紀舞踊の歴史5・6 上林澄雄 ダンス・ワーク27・28
ディアギレフ・芸術の推進者 久保正士 同上

世界のバレエシリーズ1 オーストラリア・バレエのアンナ・カレーニナ 薄井憲二 ダンス・ワーク27

沈黙とモダンダンス—その歴史的考察 江崎司 創作舞踊12

もだんだんすみであるき1~5 木村英二 TES25~29

アメリカン・ダンスの繁栄 片岡康子 女子体育12月

半島の舞姫—崔承喜論のために 久保覚 新日本文学8月

バレエ花伝書■服部智恵子口伝バレエ教室(9)~(14) TES24~29

Sadler's Wells その発祥と展開I 鈴木廣 舞踊学3

エルム・ハースト物語1, 2 ケイコ・キーン ダンス・ワーク27・28

ジェーン・ガッドソウのこと 井上博文 ダンス・ワーク27

佐藤勇次のこと 井上博文 ダンス・ワーク28

現代舞踊作家論15 日本のベジャール・横井茂 景安正夫 ダンス・ワーク27

大野一雄・ナンシー演劇祭 神山貞次郎 ダンス・ワーク28

アルヘンチーナとの出会い 大野一雄 同上

ヨーロッパへ還った大野一雄 澤玲郁子 同上

神秘的叡智の光の中の芸術 マリー・シュタイナー 同上

オイリュトミーの受難と復活のために 笠井叡 同上

対談・舞踊の国際交流の道と歩むべき道 芙二三枝子・山城祥二 同上

幕のうちそと 藤井修治 TES
2. 新春に翔ぶ 宮木百合子・大塚礼子・尾本安代・安達悦子 24

3. 「ロメオとジュリエット」を語る 谷桃子・ビルギッド・フルベリ, ミシェル・ブリュエル他 25

4. 貝谷八百子の魅力 26

5. 11年振りの帰国・深川秀夫を迎えて 27

6. 2人のプロデューサーを迎えて(1)太刀川瑠璃子 28

7. 同(2)井上博文 同上

8. 2人の偉大な師に学んで……今…… 川口ゆり子 29

前田久美子のソビエト公演記 越智実 TES24

座談会・オリガ・サファイア 桜井勤・蘆原英了・松尾明美・松山樹子・三橋蓮子 TES25

座談会・バレエ野郎・会・界を語る 浅見捷二・池田真臣・石田泰己・遠藤展弘・京谷幸雄・児玉克洋・飯島担 TES26

活気を取り戻した中国舞踊界—教育方針から公演演目まで 松山樹子 音楽芸術4月

「舞踊劇」の登場人物たち—イエイツにおける能

名取栄史 関西大学東西学術研究所紀要13

イエイツ劇と能楽の影響—1— 松山明生 法政大学教養部紀要36

イエイツ舞踏劇と能楽 松山明生 英文学53

インドネシア音楽舞踊体験記 山本宏子 季刊邦楽22

世界を回る夢みるダンサー—石川みのり 後藤みな子 潮7月

炎上の道行を踊る—長嶺ヤス子 後藤みな子 潮6月

磨赤児たちに関する無意味な断片 長尾一雄 新劇5月

< 民俗 >

大日堂舞楽 『大日堂舞楽』編集委員会 大日堂舞楽保存会

秋田県鹿角市小豆沢大日霊貴神社に伝わる大日堂舞楽の記録。歴史伝承編、解説編、民俗編、資料編よりなる。解説編に各曲の型付を載せ、また民俗編には、大日堂の祭堂行事へ至る各部落の行事次第が詳細に記される。

伊雑宮の御田植祭 古典と民俗学の会編・発行 古典と民俗学叢書IVとして、三重県志摩郡磯部町の伊雑宮の御田植祭の記録。伊雑宮—風土と歴史、御田植祭、伊勢のお田植え神事、神話と神事と、よりなり、御田植祭の第四節芸能に、芸能の次第と芸態を記す。

出雲祭事記 速水保孝 講談社

出雲と隠岐の祭りを季節ごとに配列し、その探訪記約60項目よりなる。巻末に「出雲の祭り暦」を載せる。

仁比山大御田祭 金子信二 金子信二
十二年に一度の申歳に佐賀県神埼郡神埼町仁比山神社におこなわれる大御田祭の写真集。稽古から本祭の芸能までが、解説を添えて構成される。

南九州の民俗芸能 下野敏見 未来社
南九州から奄美諸島に至る地域の民俗芸能を、神楽・田楽・風流・祝福芸・狂言系・人形芸に分類して述べられる。巻末に、総括として「南九州の民俗芸能の特色と問題」、考察として「民俗芸能の伝播と変容について」を載せ、「南九州の民俗芸能期日一覽」がつく。

里神楽の伝承者について 石塚尊俊 国学院雑誌11月
芸能史研究ノート ⑤北陸の猿楽と仮面(下) ⑥阿蘇神楽考註 後藤淑 芸能1~3月

岩戸神楽成立の一面 西田長男 国学院雑誌11月
盆踊・盆唄 その歴史と特徴 山路興造 季刊邦楽23

いは・では・ひきは一風流踊・風流系獅子踊を中心に 中村茂子 芸能の科学11 芸能論考VI
念仏講と念仏踊一房総の念仏芸(一) 三隅治雄 同上

北海道アイヌの舞踊について一舞踊の種類 川端ひろ子 藤女子大学・藤女子短期大学紀要第2部17

秋田の音楽と延年舞 佐藤久治 山岳宗教史研究叢書14

箱石の「コウキリコ」踊り 吉川周平 民俗芸能60
大乘神楽の「禰」と「鐘巻」 森口多里 芸能8月
大出神楽について 類家英一郎 山岳宗教史研究叢書14

陸前牡鹿半島の獅子振り 小野寺正人 まつり通信227

牡鹿法印神楽 田中義広 まつり通信236
黒森神楽と陸中の修験芸能 森口多里 山岳宗教史研究叢書14

羽黒山の花祭と祭文 戸川安章 同上
蔵王修験と山伏神楽 森口雄稔 同上
日光山の延年舞と強飯式 中川光 同上
信州新野雪祭管見 後藤淑 国学院雑誌11月
三河一色大提灯と巫子神楽 鬼頭秀明 まつり通信234

奥三河の神楽・花祭考 武井正弘 山岳宗教史研究叢書14

伊奈富神社の獅子神楽 中村茂子 民俗芸能60
熊野大瀬の太鼓踊 三隅治雄 同上
市原田楽と宮座の報告一兵庫県多紀郡今田町市原・住吉神社 久下隆史 日本民俗学127
播磨の千石踊 喜多慶治 まつり通信237
中国地方の神楽における託宣一神がかりの詞章及び神楽歌について 牛尾三千夫 口承文芸研究3
若宮遊びと松神楽 牛尾三千夫 国学院雑誌11月

備中神楽 浅原健 民俗芸能60
民俗舞踊の比較研究一岡山県における重要無形民俗文化財について 三室清子 岡山大学教育部研究集録53
民俗舞踊の研究一岡山県久米郡久米南町のバンパ踊りについて 三室清子 同上54
民俗舞踊の研究一岡山県笠岡市大島の傘踊りについて一 三室清子 同上55
鎮魂の神楽と神楽歌一近世前期における備後の浄土神楽の能 岩田勝 芸能史研究71
唐子踊り 佐藤米司 まつり通信236
中国山地の猿楽と猿まや 三浦秀有 まつり通信231
神子と法者一近世前期における郷村祭祀の祭司層 岩田勝 山陰民俗35
五竜王から五人の王子へ(承前) 岩田勝 同上34
出雲神楽のほめ言葉 川上登 同上
出雲槻之屋神楽の「山神楽」の詞 山田良夫 同上
隠岐国分寺の蓮華会舞 高橋秀雄 月刊文化財4月
吉無田郷獅子舞 立川初義 民俗芸能60
沖繩芸能の現状 当間一郎 季刊邦楽23
与論島の十五夜踊狂言詞章 萩原竜夫 まつり文化9, 10
国頭村安田のウンジャミとウシデーク 仲宗根幸市 まつり通信238
シヌグ・ウンジャミ考 大城学 民俗芸能60
塩屋の海神祭など 田中義広 まつり通信237
久高島とイザイホー 崎原恒新 日本民俗学131
イザイホーにおける舞踊 吉川周平 舞踊学3
与那国島の歌舞 本田安次 まつり通信235
民謡と踊り 郡司正勝 国文学6月臨時増刊
アヴォイダグスの社会学的考察一ミクロネシア・ポナベ島の事例分析 森岡谷子 社会学評論4月

＜教育＞

ダンス・表現学習指導全書一表現理論と具体的展開
一 編著者代表・松本千代栄 大修館書店
総説編に、ダンスの学習理論。学習指導編に、幼稚園・保育園の学習指導、小学校の学習指導、中学・高校の学習指導。資料編に、クラブ活動に役立つ基礎運動、ほか。

身体運動の表現学 E.メセーニ 山口恒夫・山口順子訳 泰流社
“Movement and Meaning”(1968)の全訳。「人間の生活の意味」を「ダンス、スポーツ、エクササイズと呼ばれる運動形式にまををしばって、身体を動かすという行為」にテーマをおき、哲学、心理学、神経生理学、教育学を援用して解明せんとする研究。内容は、形式、人間によってつくられた形式、人間によってつくられた運動形式、身体運動の拠り所、ダンス、スポーツ、エクササイズ、「動きつつ学び、学びつつ動く」。

マイネル動作学 上巻 K.マイネル 萩原仁・綿引
勝美訳 新体育社

特集・表現運動・ダンス指導の問題とその解決 学
校体育10月

表現運動におけるリズム・パターンについての一考
察 吉田育子 中京体育学研究20(2・3)

創作ダンスの技能に関する一考察 鈴木裕美子 中
京女子大学・中京女子大学短期大学部紀要14

ダンス指導法における一考察—正確な模倣へ導くた
めに 川上敬子・田川典子・高橋繁美 藤村学園
東京女子体育大学紀要15

リトミックに関する一考察—「音楽と動き」の問題
を中心にして 五味克久 作陽音楽大学・作陽短期
大学研究紀要12(2)

身体像からみたダンスについての研究 米井澄江
順天堂大学保健体育紀要23

表現運動の構造と「造形的印象」「言語的印象」 杉
山由美 聖心女子大学論叢55

身体表出運動の認知に関する心理学的研究 浅井正
昭 (日本大学人文科学研究所) 研究紀要23

組踊『執心鐘入』の教材化のための作品研究 津波
古敏子 沖繩大学紀要1

教育舞踊における運動主題記譜法の応用(I) 堀野
三郎 舞踊学3

外来舞踊の導入と舞踏的遊戯の生成過程—明治期に
おける舞踏の史的考察 松本千代栄・香山知子
同上

舞踊表現の構造と鑑賞 松本千代栄 女子体育1月
〈表現と教育研究〉舞踊と演劇のあいだ 田村忠雄
女子体育2月

ダンス指導に役立つ視覚資料 川口千代 女子体育
7月

「舞踊課題」と創作学習 松本千代栄 女子体育8月
運動のリズムと学習 浜田靖一 女子体育12月

韓国の舞踊教育 鄭清子 女子体育12月

幼児の創造性と運動・遊び 岸純子 体育科教育3月
オイリュトミー治療・教育・芸術ワークショップに
参加して 石黒節子 体育科教育4月

ダンスは女子の教材として適切か 安藤幸 体育科
教育5月

「基本の運動」「ゲーム」への批判と提言—舞踊教育
の立場から— 川口千代 体育科教育5月増刊

子どものつまづきの要因とその解決—ダンス— 村
田芳子 体育科教育9月

子供とともにつくる表現学習 柏市立柏第4小学校
学校体育2月

ダンス—子供自身の評価を生かして 斎藤芳子 学
校体育2月

表現運動・ダンスの単元計画・学習指導案 松本富
子 学校体育3月

新しい学校体育のねらいと内容を考える—高校・ダ
ンス 斎藤千代子 学校体育4月

舞踊教育の源泉 笹部桂子 学校体育11月

生き生きと自由に表現させるために 斎藤裕子 同
上

ダンスの学習内容と初歩的指導(Ⅲ) 女子体育1・2
月

保育園・幼稚園 下村頼子・森尾信子・橋本ひろ
子・井上都美子・水谷光・永井正子

小学校 相馬了・村上京子

中学校 三浦早江子・斎藤芳子

高等学校 片岡康子・乙坂喜代美

ダンス学習の基本的段階 女子体育4~7月

幼稚園・保育園 千葉栄子・須藤鶴子・小松芳子
・阿部康子・森安万亀子・井上萬里子・飯村幸
子

小学校 高田むつみ・田所ちはや・須藤幸吉・相
場了・野口つぎ代・荒川サツエ・大池光子・一
村艶子・玉田龍子・榎原琴美

中学校 斎藤芳子・三浦早江子・近藤達子

高等学校 井手口あけみ・高野章子・山口直永

ダンス学習の基本的段階 女子体育8~12月

保育園・幼稚園 柴真理子・須藤鶴子・小松芳子
・内藤澄子・二宮満子・白井郁子・畠山トミ・
村田修子・西山富美子・中務知子

小学校 相場了・野口つぎ代・山本和子・浜崎順
子・古川絢子・芳沢富江・佐藤直子・石田シズ
エ・流田直

中学校 斎藤芳子・川口千代・椎名瑞子・松本富
子・島内敏子

高等学校 三宅香・石田まつかき・藤沢史枝・位
高美代子・林真幾子

日本女子体育連盟共同研究 女子体育

表現運動における各学年の基本的な技能段階につ
いて 東京都女子体育連盟・相馬了 9月

作品をつくるよろこびを知らせる指導 山梨県女
子体育連盟・川口千代 10月

創意を生かした楽しい体育の学習指導 学校体育5
月臨時増刊

小学校・表現的な動きの広がり求めて 相場了
中学校・ダンス・楽しい授業の条件 浜本量子
高等学校・「メルヘンの世界」から創る喜びを味わ
う 吉岡宮子

子供のねがいを生かした体育指導〈表現運動〉 学
校体育6月

子どもが喜んでつくる表現学習 石倉英子

子ども自らが高まるような場面の設定を 渡辺寿
子

〈授業研究〉表現運動—対立する感じの表現(6年
生) 地引和枝・市原児童体育研究会 学校体育
8月

表現運動・ダンス指導の問題とその解決 学校体育

10月

舞踊の本質を生かす学習指導 松本千代栄

子どもにとって表現運動・ダンスの喜びとは 中
間千恵子

学習指導過程を考える 村田芳子

学習内容の押え方 相場了

楽しい表現運動・ダンス学習のための指導の手だ
て 野口つぎ代

抵抗感をなくす「ほぐし」の段階 中村久子

表現運動・ダンス嫌いの子どもの指導 林久子

一時間ごとに楽しくダンスの本質に触れさせる指
導 高野章子

舞踊表現とイメージ 川口千代 体育の科学6月

やさしいバントマイム ヨネヤマママコ 女子体育8
月

ダンスの指導における一考察(1)―指導者の言語よ

り― 大島敏・佐々木昌代 舞踊学3

第九回舞踊学会シンポジウム 日本の児童舞踊を考
える 桜井勤 TES27

— 補 遺 —

〈 総 記 〉

美的運動形式からみた Modern Dance と Modern
Gymnasticsの比較研究―音楽刺激の影響について

大藪五百子 東海大学紀要 体育学部9

舞踊における回転技術の一考察 北島見江 武庫川
女子大学紀要・体育編27

〈 教 育 〉

舞踊創作指導における一考察―舞踊運動とイメージ
石川博子 広島大学教育学部紀要第2部28

女子学生のダンス観に関する追跡調査―1― 伊達
万里子 武庫川女子大学紀要体育編27

創作ダンスにおける創作過程と参加意識 中村久子
他 徳島大学学芸紀要 教育科学28

即興表現にみられるダンスの技能 佐分利育代 鳥
取大学教育学部研究報告 教育科学21(2)

パリのリトミック学校に学んだ、もう一人の幼児教
育者―天野蝶の歩いた道 小林恵子 国立音楽大
学研究紀要14

舞踊制作過程の研究 根木富久子・辻元早苗 東京
学芸大学紀要第5部門芸術・体育31

(板谷 徹)

付記・〈教育〉の部分は、川口千代氏に御助力を願っ
た。

外国の舞踊書から

1980年出版カタログ, Dance Magazine, Dance & Dancers, などの新書紹介欄に取り挙げられた1979, 80年刊行の舞踊関係の単行本のなかから, 重要と思われるものを, 紹介の抄訳とともに掲げる。

Baryshnikov in Color, Introduction and Commentaries.

ed., by Charles Engell France

(Harry N. Abrams)

世界的に大活躍の人気ダンサー, バリシニコフのカラー写真集である。彼の舞台写真, 日常のスナップ写真など魅力的な写真に溢れている。バリシニコフ自身の序文と解説がついていることも興味深い。

The Dance Makers: Conversations with American Choreographers.

by Elinor Rogosin

(Walker & Company)

著者が1970年代に, ラジオ番組で対談した数人の振付師との会話から, 芸術論や人生論をひきだし解説をつけ加えた本である。テッド・ショーン, ワイドマン, グラハム, ホーキンス, カニングハム, ニコライ, その他7人の振付師の生きた言葉が読みとれる。

Staying Power: Performing Artists Talk About Their Lives.

by Peter Barton

(The Dial Press)

P. Bartonによる演奏家, 踊り手, 俳優との対談と写真集である。踊り手としてはT. Rawe, H. Morales, R. Silver, U. Doveがとりあげられている。5才の頃なにをし, なにを考えていたか, なぜ大学へ行かなかったのか, 誰に影響を受けたのかなどがインタビューされている。

Memoirs of a Dancer: Shadows, Dreams, Memories.

by Orest Sergievsky

(Dance Horizons)

O. Sergievskyの自伝。ロシア革命を生きぬいた舞踊家の激動の人生が語られている。ロシア革命の頃, ヨーロッパとアメリカの放浪, バレエ・リュッスでの舞台, バレエ・シアターの舞台, 自分が結成したバレエ団のことなど。特に興味深いことは, 彼の回想の中でニジンスカ, フォーキン, ロビンス, デ・ミレといった舞踊家との交流が生き生きと語られている点であり, 当時のバレエ界の状況をうかがい知

ることができる。

The Ballerina: Famous Dancers and Rising Stars of Our Time

by Sarah Montague

(Universe Books)

バレエ・ダンサーの舞踊そのものの魅力を, 豊富な写真で視覚的に訴えた写真集。30人ほどのバレリーナが各々4頁をさいてとりあげられている。自伝的, 歴史的資料などは一切使用されておらず, バレエ・ファンの急増にこたえた出版物といえる。

The King's Ballet Master

by Walter Terry

(Dodd, Mead & Co.)

19世紀のバレエ・マスターであったオーガスティン・ヴォーノンヴィルの伝記。彼の没後百年祭にあわせて出版された。先年, 彼の自伝が英語版で出版されたが, とともにバレエ史にとってかけがえのない資料を提供してくれる重要な書物である。例えば彼の作品“Valdemar”(1835)は, デンマークではまだガス以前の時代であったのでオイル・ランプだけで踊られた(P.40)といった興味深い記述が所々にみられ, 巻末には作品一覧表も収められている。

Behind Barres: The Mystique of Masterly Teaching

by Joseph Gale

(Dance Horizons)

優秀なバレエ教師数人の指導法やレッスンの光景などが書かれている。例えばチエケッティ・メソッドの著書もあるM. Craske, かつての花形男性舞踊手L. Danielian, ディアギレフ・バレエ・リュッスのバレリーナであったF. Doubrovskaraをとりあげている。なかでも80代の現在もバランチン・スクールで指導している国宝級のF. Doubrovskiaにもっとも力を注いでいる。

Misia

by Arthur Gold & Robert Fizdale

(Alfred A. Knopf)

ディアギレフが, 真実に愛し結婚を考えた唯一の女性であった, と語った芸術家Misia Sertの伝記。ディアギレフ没後50年にあわせて出版された。2人共1872年3月ロシアに生れ, 若い頃音楽の道を志して意気投合し, 伝統にとらわれない新しい芸術の推進に情熱を傾けた間柄である。2人の深い交流はディアギレフが亡くなるまで続き, ミシアは臨終をみとけたという。共著者は丹念な調査資料と音楽的見識を織りこみながら, 彼女の人生をユーモアに満ちた文章で魅力的に語っている。

*ダンサーを志す若い人びとのための新刊本

Dancer

by Suzanne Merry

(Charles Scribner's Sons)

If You Were a Ballet Dancer.

by Ruth Below Gross

(Dial)

On Your Toes: Beginning Ballet

by Wendy Neale

(Crown Pub., Inc.)

Modern Ballet

by John Percival

(Harmony Books)

著者は、近年いかにバレエとモダン・ダンスが接近したかということ、バランチン、グラハム、クランコ、ベジャール、テトレイ、グラント・ユニオン、シヤドソン・ダンス・シアター、ロンドン・コンテンポラリー・ダンス・シアターなどの作品を取りあげながら論証している。今日の踊り手達の相互交流をときあかし、舞踊界がいかに狭いか、また革新者たちがいかに影響しあったかを印象づけ、結論的には両者の混成物をモダン・バレエと概念規定している。

Isadora & Esenin

by Gordon McVay

(Ardis)

ダンカンに関しては数多くの文献が出版されており、語り尽くされている部分も多いが、唐突な結婚をしたダンカンとエセーニンの理解を深め得る本である。2人の結婚はダンカンが子供を亡くした10年後であるが、エセーニンは亡くした子供の写真を見ながら嘆き悲しむダンカンに嫉妬し、その写真を焼こうとしたというエピソードなどを含む豊富な実例と正確な資料が駆使されている。

The Drama of Denishawn Dance

by Jane Sherman

(Wesleyan Univ. Press)

著者J. Shermanはデニシオン・カンパニーに在団(1925-28)したダンサーである。著者の自伝的要素も濃いが、デニシオンの意欲的な活動の成果を吟味し記録している。デニシオンの作品解説(1914-26)や貴重なプログラムが収められている。

A Classic, Barbara Morgan's Martha Graham:

Sixteen Dances in Photographs.

(Morgan Press)

1941年に出版されたマーサ・グラハムの写真集の再版である。グラハムの初期の16作品が収められている。再版に際し、写真家モーガンはオリジナルネ

ガから128枚の写真を新たに焼付けたという。1941年以後の作品を加えた作品一覧(168作品)が資料として貴重である。

Reformers and Visionaries, The Americanization of the Art of Dance.

by Chalfa Ruyter

(Dance Horizons)

アメリカ・モダン・ダンスの先行理念・体系としてのデルサルートを研究した本。18~19世紀アメリカの舞踊概説に始まり、デルサルートの指導法解説、デルサルートの継承者、模倣者の活動へと論を展開している。著者は、デルサルート・システムはハンフリー、ワイドマン、グラハム、カニングハムらの仕事に継承され、新しいアメリカのダンス、すなわち今やヨーロッパに逆移入されているモダン・ダンスに道をつけたと結論づけている。

Terpsichore in Sneakers: Post Modern Dance

by Sally Baner

(Houghton Mifflin Co.)

1960~70年代に活躍した前衛舞踊家の一団に関する本。S.フォルティ、Y.レイナー、D.ゴードン、M.モンク他の人物像と舞踊が深く掘りさげられ、R.アレクサンダーの写真が具体的理解を深める上に重要な役割を果たしている。「ポスト・モダン・ダンス」というタイトルで出版されたことが注目される。

Mimes on Miming

ed. by Bari Rolfe

(Panjandrum Books)

古代ギリシアから現代に至るまでのマイムに関連する論文が60余編収められている。例えばノヴェール、ゴスラー、ワイドマン、エンターズ、マルソー、チャプリンなど。

Dance and Mime

ed. by S. Braun & J. Kitching

(Films Association, Inc.)

アメリカとカナダで製作されたダンスフィルムのリスト。1100本をこえるビデオと16ミリフィルムがリストアップされている。1974年の第一版に新しく700本が加えられた。種類はバレエ、モダン・ダンス、人類学、エスニック、フォーク、儀式・宗教、ジャズ、タップ、ソーシャル、セラピーなど。

Movement and Educational Dance for Children

by Rosamund Shreeve

(Plays, Inc.)

小・中学生のダンス指導に役立つ本。「課題」質

間” “ダンス”に分けた授業内容、授業案毎に主要点を解説した図解、また詩、物語り、彫刻、自然、動物、季節の出来事などの教材一覧。大胆でアイデアに満ちた本づくりがされている。

First Steps in Teaching Creative Dance to Children

by Mary Joyce

(Mayfield)

小学生のためのダンス学習書。初歩的・基本的段階に重点が置かれ、創作ダンス経験のない学級担任に最適の本である。創造的動きの背景になっている理論、授業はいかに展開されるか、アイデアはどのように動きになっていくかなどが解説されている。各授業毎にねらい（例えば“方向とテンポ”）や方法（例えば“ストップ・ゴー・ゲーム”を使ってなど）が具体的に示されている。

The Pilates Method of Physical and Mental Conditioning

by P. Friedman & G. Eisen

(Doubleday)

Joseph Pilatesの身心矯正法の紹介。非常に高度な内容（瞑想、精神集中、呼吸法）が中心になっているので、熟練者や熟練教師用といえる。写真を駆使して練習課題を明確にしている。

Body Movement: Coping with the Environment.

by I. Bartenieff with D. Lewis

(Gordon & Breach)

著者はアメリカにおけるラバン研究の権威者であり、本書は、著者の研究過程と成果を詳述した専門書である。しかし単に論理的内容展開にとどまらず、フィジカル・セラピストとしての実践から得た身体運動の重要性を具体的に示し、またダンス・セラピーにおいてエフォート・クォリティが患者との意志疎通にいかに関与したかなどを例証している。ラバン研究の発展史にもふれている。

Body Code, The Meaning in Movement

by W. Lamb & E. Watson

(Routledge & Kegan Paul)

表現行動学ともいえる本である。人間の表現行動と性格に関する共著者たちの研究成果が、イラストを使って平易に書かれている。例えばW. Lambは、人間の動きを観察する枠組を打ち立て、postureとgestureの相違を明らかにしながら、人間は個々にP G M (posture-gesture merging) スタイルをもってするという結論を導きだしている。

著者W. Lambはイギリスにおけるラバン研究の権威者であり、“Action Profiling”という性格分析法を開発している。E. Watsonはベテランのソーシャ

ル・ワーカーで、社会学や行動学関係の出版社を経営している。

Instant Fitness: How to Stay Fit and Healthy in Six Minutes a Day

by Nicholas Kounovsky

(Paragon Books)

1日6分間で健康と体力を維持する方法を紹介している。体力自己診断テストと体力の鍛練法が、机、椅子、戸口、タオルなどを利用して、日常空間の中で手軽にできる具体的事例によって示されている。

Aerobic Dancing

by J. Sorenson with B. Bruns

(Rawson, Wade)

今はやりのエアロビクスをダンスに応用したもの。酸素を体内に入れて若返るダンスの紹介。著者が、エアロビック・ダンス・クラスで実践して成功した事例が、写真によって分りやすく示されている。彼女の方法はジョギング・ダンスといったもので、まずウォーミング・アップで始まり、つぎにポピュラーな音楽に振付けたダンス・ナンバーを踊り、最後に呼吸を整える運動を行う。社会体育の場などに活用できる。

To dance in Human: A Theory of Nonverbal Communication

by J. Lynne Hanna

(Univ. of Texas Press)

著者は、過去の文化人類学が舞踊をないがしろにしてきた点を指摘し、文化全般との関連から舞踊を把握しようとしている。舞踊に関する文化人類学の先行研究(Lomax, Mead, Birdwhistellらの)を引用しながら、舞踊と社会・文化パターンとの関連、宗教と舞踊、政治的儀式・行動と舞踊について考察し、南アメリカやアフリカにみられる具体的事例を示している。舞踊から人間行動にアプローチしようとする研究姿勢が評価できる。

(片岡康子)

昭和55年度 舞踊学関係修士論文一覧

※1. 大学院名50音順

2. 昭和56年3月末日現在・返答大学院 15校

題 目	氏 名	大 学 院 名
舞踊における感情についての因子分析的研究	猪崎 弥生	お茶の水女子大学大学院人文科学研究科
身体像からみた幼児のラティラリティについて	斉藤 信子	同 上
剣道・ダンス・バレーボールにおけるリズム特性について	佐藤みどり	同 上
福島県の念仏芸能—舞踊民俗学的アプローチ—	本田 郁子	同 上
現代舞踊作家と作風—藤井公・利子論—	本間 清美	同 上
舞踊運動の要素についての一考察—R. Labanの運動の分析を手がかりにして—	菅原 純子	東京学芸大学大学院
舞踊の表現技巧についての研究	山田 朋子	同 上
Preferred Tempoの動作における音のリズム刺激の影響	須江 智子	奈良女子大学大学院文学研究科
近世三味線音楽と舞踊の関係—長唄を中心として—	小宮山 亘	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科

学会活動報告

- * 6月7日(土) 舞踊学会紀要『舞踊学』第3号を発行。
- * 6月7日(土)8日(日) 玉川大学ほかにおいて昭和55年度総会ならびに第9回舞踊学会春季大会を開催。
第1日(玉川大学礼拝堂)
レクチュアデモンストレーション予定の張義根氏が事情により出国不可能になり中止。
- ポーランドの国際演劇学会報告
早稲田大学教授 郡司 正勝
- 玉川大学所蔵児童舞踊の映画上映。
特別講演 足のはたらき
京都大学教授 近藤 四郎
- シンポジウム 日本の児童舞踊を考える
玉川大学教授 岡田 陽
お茶の水女子大学教授 松本千代栄
舞踊家 美二三枝子
舞踊評論家 桜井勤(司会)
- 総会—事業報告・会計報告・監査報告・役員改選。
〔理事〕— 石福恒雄・市川雅・柿沢充・川口千代・郡司正勝・上林澄雄・近藤英男・桜井勤・鳥越文蔵・花柳千代・松本千代栄・目代清・山田敦子
〔監査〕— 柴崎四郎・横道萬里雄
理事の互選により、会長に郡司正勝を選出、得票順により、副会長に松本千代栄・石福恒雄を会長より委嘱。

懇親会

第2日(東京 赤坂・黛ビル4F)

見学 黛節子(舞踊家) 綾子舞他

坂下幸男(日本ヨーガ・アシラム会員)
ボディ・トレーニング(ヨガ)

- * 7月5日(土) 第11回理事会。幹事5名(石井一躬、板谷徹、香山知子、平野英俊、丸茂祐佳)、編集委員7名(石福恒雄、市川雅、川口千代、上林澄雄、鳥越文蔵、松本千代栄、目代清)、編集幹事3名(板谷徹、柴真理子、平野英俊)を選出。

- * 11月15日(土)16日(日)十文字学園女子短期大学において第10回舞踊学会秋季大会を開催。

第1日(十文字学園女子短期大学第4棟3下新1教室)

○研究発表

- 舞踊用語に関する研究(Ⅲ) 松本千代栄
厚母宗子
桑原和美
佐々木昌代
- 感情語刺激に伴う
表現運動の空間特性について 平井タカネ
教育舞踊における
運動主題記譜法の応用(Ⅱ) 畑野 裕子
ダンス指導における一考察(2) 堀野 三郎
大島 敏
富田美智代
三反崎康子

日本と欧州における
踊狂の比較舞踊論的考察
近代舞踊芸術におけるディレクタン
ティズムの果たした役割について 丸子陸美

相互作用を目的とする
Creation Workの試み 葵 妖子
デニシオン時代 片岡康子
山田敦子
上林澄雄

抽象舞踊の意味
懇親会
第2日(第1日に同じ)

- 研究発表
舞踏的遊戯にみられる教育理想—明治期における舞踏の史的考察(Ⅱ) 松本千代栄
舞踊教育の問題点について 香山知子
舞踊の動作分析から得るもの 近藤英男
長唄地における娘形作品の技的研究 富士波雄三
所作の成立とやつしの思想 丸茂祐佳
加治木の太鼓踊りの特異な芸能 板谷 徹
吉川周平

○特別講演(十文字学園女子短期大学体育館)
身体表現の考え方と実際
鈴木忠志及び早稲田小劇場劇団員

* 11月16日(日) 編集委員会(十文字学園女子短期大学)

* 1月17日(土) 第12回理事会(早稲田大学大隈会館)

* 2月25日(水) 編集委員会(早稲田大学大隈会館)

巻頭論文投稿の選考。

(第9回舞踊学会実行委員—岡田陽、今尾哲也、上原輝男)

(第10回舞踊学会実行委員—相場了、高橋真琴、坪倉紀代子)